

第130回企画展

三島由紀夫の アオハル

中島飛行機からの出発

2026 10.17(土) — 2027 2.7(日)

開館時間 9:30～17:00(観覧受付は16:30まで)
休館日 大曜日(11月3日(火)は開館)、11月4日(水)、12月28日(月)～1月6日(水)
観覧料 一般500(400)円／大高生250(200)円
※()内は20名以上の団体割引料金 ※中学生以下、障害者手帳等を所持の方とその介護者1名は無料 ※10月24日(水)群馬県民の日は無料
監修 佐藤秀明氏
特別協力 山形県文学の森 三島由紀夫文学館 株式会社SUBARU
後援 山中郷村 山中郷村教育委員会 太田市 朝日新聞前橋支局 毎日新聞前橋支局 読売新聞前橋支局 東京新聞前橋支局
麻生新聞前橋支局 上毛新聞社 朝生タイムス社 NHK前橋放送局 群馬テレビ FM GUNMA ラジオ高崎 まえばしCITYエフエム



群馬県立土屋文明記念文学館

Gunma Prefectural Museum of Literature in Commemoration of Bunmei Tsuchiya

〒370-3533 群馬県高崎市飯坂町2000 TEL 027-373-7721 FAX 027-373-7725



HP



X



Instagram



ぐんま県立
文学館
土屋文明記念文学館

第130回企画展

三島由紀夫の アオハル

中島飛行機からの出発



三島由紀夫著
『春の雪—豊饒の海・第一巻—』(新潮社刊)
『奔馬—豊饒の海・第二巻—』(新潮社刊)
『暁の寺—豊饒の海・第三巻—』(新潮社刊)
『天人五衰—豊饒の海・第四巻—』(新潮社刊)
画像提供: 山中湖文学の森 三島由紀夫文学館

現代を生きる私たちの価値観を揺さぶる、「エモい」三島文学の世界に触れてみませんか。

本展では、初展示を含む、群馬から家族や友人に送った葉書をはじめ、青春時代のリアルな三島が感じられる資料を展示します。また「潮騒」「金閣寺」「豊饒の海」など、珠玉の作品群につながるエピソードを原稿や創作ノートとともに紹介し、作家・三島由紀夫の出発点に迫ります。

生の苦悩や葛藤を鮮烈に描き、世界中の読者を魅了し続ける三島由紀夫。太平洋戦争末期、群馬県太田市の中島飛行機小泉製作所で勤労働員をしていた彼は、純粋に文学に没頭し、自己の文学世界を構築しました。



分部順治作「恒」(三島由紀夫像)
市立高崎経済大学附属高等学校蔵

関連行事

※講演会(定員 各日150名(先着)、4名様まで申込可、要事前申込、要当日の企画展観覧券)

記念講演会 【申込受付10月16日(金)10:00~】

11月15日(日) 14:00 ~ 15:30

「終戦前後の三島由紀夫」

講師: 佐藤 秀明氏(近畿大学名誉教授・三島由紀夫文学館館長)

1955年神奈川県生まれ。立教大学文学部卒。立教大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。博士(文学・大阪大学)。著書に『入門講座三島由紀夫』(平凡社新書)、『三島由紀夫の文学』(試論社)、『三島由紀夫悲劇への欲動』(岩波新書)など。ほかに『決定版三島由紀夫全集』(新潮社)編集協力。本企画展監修者。



講演会 I 【申込受付10月26日(月)10:00~】

12月13日(日) 14:00 ~ 15:30

「転生する三島」

講師: 島田 雅彦氏(作家・法政大学国際文化学部教授)

1961年東京都生まれ。1984年『夢遊王国のための音楽』で野間文芸新人賞、1992年『彼岸先生』で泉鏡花文学賞、2020年『君が異端だった頃』で読売文学賞受賞。三島由紀夫賞、芥川賞選考委員を歴任。2022年紫綬褒章受章。



ワークショップ 【申込受付10月10日(土)~申込締切11月18日(水)必着】

(定員 50名(抽選)、4名様まで申込可、要事前申込、要当日の企画展観覧券)

11月29日(日) 14:00 ~ 15:30

「ぶんぶん文学、だんだんダンス~からだで読む、文学と身体が出会うワークショップ~」

講師: 藤田 善宏氏(ダンサー・振付家)

振付家・演出家・ダンサー・デザイナー。CAT-A-TAC主宰、コンドルズメンバー。文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞。福井国体開会式振付総合監修。身体表現と道具を駆使した無声劇や異ジャンルとのコラボを得意とし、三代が楽しめるダンス劇、障がい者対象ワークショップなど多様性を重視した活動を展開。舞台・TV他、振付出演多数。



講演会 II 【申込受付11月9日(月)10:00~】

1月24日(日) 14:00 ~ 15:30

「物語とどうあるか」

講師: 朝比奈 秋氏(作家・医師)

1981年京都府生まれ。現役の消化器内科医として勤務しながら執筆した『塩の道』で林芙美子賞、2023年『植物少女』で三島由紀夫賞受賞。同年『あなたの燃える左手で』で泉鏡花文学賞、野間文芸新人賞、2024年『サンショウウオの四十九日』で芥川賞受賞。2026年、『受け手のいない祈り』で第76回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



撮影: 武藤奈緒美

毎日開催

◆ 三島由紀夫戯曲作品「船の挨拶」の舞台映像を常時上映
上演: アポロの杯 演出: 木澤 譲

◆ オリジナルデザインのブックカバープレゼント
協力: 市立高崎経済大学附属高等学校芸術コース美術系

◆ 《三島歌舞伎×ぐんまちゃん》の
オリジナルぬりえコーナー



©群馬県 ぐんまちゃん

【申込方法】

- 当館ホームページ内「イベント申込フォーム」から往復はがきにてお申し込みください。
- イベントごとに申込が必要です。申込はイベントごとにお一人様1回限り有効です。
- 個人情報は適切に管理し、各イベントの目的にのみ使用します。

【往復はがきの書き方】

〈往信表面〉〒370-3533 高崎市保渡田町2000 土屋文明記念文学館・イベント係

〈往信裏面〉①開催日・イベント名(例:「11/15講演会」)

②申込者(代表者)の住所、氏名(ふりがな)、電話番号

③申込人数(4名様まで申込可)

〈返信表面〉申込者(代表者)の郵便番号、住所、氏名

〈返信裏面〉何も記入しない

申込みフォーム
↓詳細はこちら



クリスマス ロビーコンサート 【申込不要・無料】

12月20日(日) 14:00 ~ (30分間程度)

展示解説 【申込不要・要企画展観覧券】

10月17日(土)、11月23日(月・祝)、1月11日(月・祝) 14:00 ~ (各回20分間程度)

交通案内



■ 自家用車

関越自動車道前橋ICから約15分/伊香保温泉石段街から約30分

■ 公共交通機関 (下記以外の方法、また、詳細はホームページをご確認ください。)

高崎駅から

○ タクシー: 西口から約20分

○ バス: 群馬バス「榎東村役場」(上郊口・井出経由)行→

「保渡田」下車徒歩3分

(開館時間帯 平日2本・土日祝日運休)

前橋駅から

○ タクシー: 北口から約25分

○ バス: 関越交通バス「土屋文明文学館」行→

終点「土屋文明文学館」下車

(平日・土日祝日も2時間に1本程度)

※バスの時刻については、バス会社または当館までお問い合わせください。

●群馬バス高崎駅前案内所 TEL 027-323-1533

●関越交通前橋営業所 TEL 027-210-5566



群馬県立土屋文明記念文学館

Gunma Prefectural Museum of Literature in Commemoration of Bunmei Tsuchiya

〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 TEL 027-373-7721 FAX 027-373-7725

アクセス
↓詳細はこちら

